市は、それぞれの学校ごとにイエナプラン教育のエキス(よさ・メリット)を取り 入れた「妙高型イエナプラン教育」を推進しています。新井南小学校はモデル先進校 として、令和3年度から準備と試行を進めてきていて、今年の4月から、本格実施を 迎えます。今回の特集は、妙高型イエナプラン教育の内容や具体的な活動について紹 介します。



も特全て時継れ生会の内である。 で 0 まの くりを推進する「妙高型: での学校教育のよさを受けて、市は の学校教育の実現を提唱 和 0) H 組高役 唱し は

妙高型イエナプラン教育のコンセプト

自校のよさ・特徴 + イエナプラン教育のエキス(よさ・メリット)

||

わが校独自の

- ◎児童生徒を信じ、児童生徒自身が主体的・自律的に学ぶ・学び合う授業づくり
- ◎児童生徒を信じ、児童生徒を主語にした・真ん中に据えた学校づくり

新井南小学校の特徴

<異年齢学級編制>

新井南小では少人数を生かし、1~3年生と4~6年生という異年齢で学級を編制しています。この取組 により、年齢に関係なく個性を自然に受け入れ、自分や友だちのよさや違いを尊重できる資質を育みます。

<教室環境(居心地のよい生活空間)>

教室は従来の黒板に向かう机の配置ではなく、大きな輪になって話せるスペース(サークルスペース)や複 数人で活動できる大きな机、一人で集中できるコーナーなど多様なエリアがあります。子どもたちが状況に応 じて使い分けられる居心地の良い空間となっています。

<サークル対話>

一日はサークル対話で始まり、サークル対話で終わります。朝や帰り以外にも適宜サークル対話を行い、学 級の全員で大きな一つの輪になり、互いの顔や姿を見ながら何気ない会話や話し合い、集会活動などを行う機 会をたいせつにしています。

<白由進度学習>

国語や算数を中心に、子ども自身が学習計画を立てて進める授業スタイルを採用し、一斉指導の時間は、こ れまでに比べ短いです。振り返りの場を設けて自分の計画や学び方を見直し、教師は個別の理解度や姿勢を観 察し支援を行います。これにより、子どもが自らの学びに責任をもつ姿勢を育成しています。

<ワールドオリエンテーション(「みなみ」タイム)>

1~3年生と4~6年生の異学年集団で、自然や地域をテーマに探究活動を行っています。1~3年生は <mark>野菜栽培や地域探検、4 ~ 6</mark> 年生は地域産業を題材に、米やそば、かんずりの調査・栽培・試食、新レシピ考 案などに取り組んでいます。

三日の流れ(3年生)

時間割	教科等	内 容
朝の会	サークル対話	お互いの顔を見て対話をしながら、1日の日程の確認、係からの連絡やレクリエーションなどを行います。
1 時間目	自由進度学習	自分の計画をもとに、自分のペースで学習を進め ます。
2 時間目		
3 時間目	体育	体育の授業は3学年合同で行っています。
4 時間目	みなみタイム	自然や地域をテーマにした探究活動を行います。
給食・昼休み		
チャレンジタイム		昼休み~5時間目の間の20分間の活動。火・金曜は清掃活動を行い、他の日は集会、全校遊びや苗植えなどさまざまな活動を行います。
5 時間目	社会	1、2年生とは別に3年生だけで学習します。
帰りの会	サークル対話	1日の終わりもみんなで輪になり、簡単な連絡やあいさつを行います。

学習計画は 自分で 立てます



※黄色塗りしている時間が新井南小学校の特徴的な取組です







外国語教育も充実

特色の一つとして、低学年から外国語教育に力を入れています。 ALT を活用した外国語教育の充実、台湾の学校とのオンライン交流や 外国人観光客へ妙高市の観光 PR 紹介など、さまざまなかたと会話を することでコミュニケーション能力を高めることにつなげています。 6年生になると台湾への宿泊体験学習も予定しています。



6年生による台湾宿泊学習(令和6年11月)



昨年の11月、当校で妙高型イエナプラン教育の研究会を行ったところ、県内外から100人を超える教育関係者が集いました。改めて注目度の高さに驚くとともに、子ども主体の学びのたいせつさに気づきました。引き続き、「スマイル」「チャレンジ」「リスペクト」の合言葉を念頭に置き、一人ひとりの物語をたいせつにした教育を推進してまいります。



▲新井南小 HP